

2019年度 学校経営計画及び学校評価

1 教育目標

生徒と教職員がともに夢を持ち、それを強い意志に高め、実現に向けて挑戦し、弛まぬ努力を続け、未来社会を創造する。
①知識や技能を習得するだけでなく、習得したものの活用能力、主体的に学習に取り組む意欲を養成。
②意志が強く、自律力と規範意識の高い生徒の育成。
③人や物事に対して誠実で、人権を尊重し、地域社会に奉仕貢献できる生徒の育成。

2 中期的目標

- 1 豊かな行事と学校生活の充実……学校行事を通して思いやりや自主性などを育む。
- 2 確かな学力の養成と進学実績の向上……生徒が自主的なバランスの良い学習をしっかりと行えるよう、教員の指導力を高め、立命館大学との提携を強化し、授業力を向上させるとともに、新学習指導要領に対応する探究学習やプログラミング教育を進める。
- 3 国際社会に貢献できる生徒の育成……国際社会の動きに関する生徒の興味関心を喚起すると共に、4技能を備えた高い英語力を養成する。
- 4 地域連携・交流と生徒募集の推進……生徒の情操を豊かにする行事に取り組み、生徒を社会に望まれる人材として送り出すことによって、地域の学校としての認知を高める。

3 学校教育の自己診断と学校関係者評価委員会の意見

学校教育自己診断の結果と分析	学校関係者評価委員会からの意見
<p>①教育活動に関する保護者アンケート結果（2019.11.11～11.27 実施）</p> <p>保護者アンケートの回答では、「あてはまる」「ほぼあてはまる」の肯定的な評価が80%を超えた項目が、中学8項目、高校10項目（全20項目中）であった。特に高い評価であった項目は「挨拶や時間厳守など、社会に通用する指導がなされている」（肯定的評価中学94.3%、高校93.6%）、「部活動や生徒活動が活発に行われている」（肯定的評価中学88.4%、高校89.1%）、「制服に満足している」（肯定的評価中学94.3%、高校87.2%）などが挙げられる。</p> <p>また、「わが子を入学させてよかったと思う」（肯定的評価中学92.5%、高校88.4%）「教職員は、生徒のことをよく考えて指導している」（肯定的評価中学81.1%、高校87.6%）等で高い評価を得られていることから、本校の教育に対して保護者に一定の理解を得られているものと考えられる。</p> <p>②生徒授業評価アンケート結果（第1回：2019.6.24 第2回：2019.11.11 実施）</p> <p>生徒授業評価アンケートの回答では、肯定的な評価が80%を超えた項目が、中学8項目、高校9項目（全10項目中）であった。生徒達は本校の授業におおむね満足していることがうかがえるが、「興味・関心がわくようになった」の項目が他の項目に比べてやや低い（肯定的評価中学73.8%、高校74.4%）ので、生徒の興味・関心を引き出せるように授業の工夫を行いたい。</p> <p>③教員による自己評価アンケート結果（2020.1.20～1.31 実施）</p> <p>教員による自己評価アンケートの回答では「保護者等への授業公開の機会が十分にある」（肯定的評価90.7%）「生徒指導において、家庭との連携ができていく」（肯定的評価93.7%）などの項目で評価が高く、生徒・保護者・教員が一体となって教育を進めていこうとする姿勢が表れている。</p>	<p>①委員会体制</p> <p>初芝橋本中学校高等学校評価委員会 教育後援会会長（卒業生保護者・地域有識者）・保護者会会長・高等学校2学年保護者・中学校2学年保護者・校長・教頭・事務長</p> <p>②委員会実施日</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校での会議は中止。 2020年3月25日に委員の方々に資料を郵送し、意見を返信していただく形をとった。</p> <p>③自己評価の結果に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わが子を入学させてよかったと思う」の評価が高いが、自分達もそう感じているし、他の保護者と話しをしても同じような声が多く、本当にその通りだと思う。 ・保護者アンケート、生徒アンケートの結果がともに良く安心することができた。 ・先生方の一人一人の生徒のことをしっかりと見てくれていることに安心している。 ・早朝テスト等で子供達の頑張る意欲を盛り上げ、勉強する姿勢の確立と学力アップに繋がってくれていると思う。 ・1コース1クラスになっている所が多く、クラス替えがほとんどないことで心配な面がある。 ・生徒同士がお互いに認め合う心をもっと養って欲しいと感じる。

4 本年度の取り組みと達成状況

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価	次年度に向けての改善策(案)
1 豊かな行事と学校生活の充実	学校行事の充実と安全・安心な学校生活を送れるための環境整備	(1) 生徒主体の「若葉祭」・「体育祭」の運営 生徒会活動を盛り上げ、自主的に豊かな学校生活を創造する力を養成する。	保護者アンケート「学校行事は楽しく充実している」で肯定的評価80%以上	学校行事に関する項目では、中学86.8%、高校84.2%と目標を達成することができた。	行事の日程・内容を見直し、より充実したものにしていく。
		(2) クラブ活動の活性化 ・重点クラブの競技力向上によって全国大会での活躍を目指す。 ・スポーツ専攻対象にアスリート研修を実施する。 5月「熱中症予防」（全生徒対象） 9月「プロスポーツ選手講演」 2月「部内におけるより良い人間関係」	保護者アンケート「部活動や生徒活動が活発に行われている」で肯定的評価80%以上	部活動に関する項目では、中学88.4%、高校89.2%といずれも昨年より高評価となった。高校ではサッカー、柔道、なぎなた、ゴルフ、テニスの5クラブが全国大会で活躍した。また、各学期にアスリート研修を実施することができた。	安全・安心なクラブ活動が行えるよう、施設設備の点検・整備を徹底して行う。 (例：10m 防球ネット設置)
		(3) 通学の利便性の向上 ・スクールバスの運行計画の工夫 ・南海りんかんバスとの連携向上	保護者アンケート「わが子は通学時間を負担に思っていない」で肯定的評価80%以上	スクールバス停留所の追加等を行い、中学では84.9%と高い評価となった。	スクールバス臨時利用制度を導入し、利便性の向上を図る。

		(4) 寮の環境整備 ・寮指導体制の整備 ・食堂試食会の実施 ・寮生アンケートの活用	具体的な環境整備が実施できたか	専属の寮監2名と各クラブ顧問による指導体制を確立するとともに、保護者の食堂試食会や寮生へのアンケートによる食事や設備の改善を行った。	寮ブログを開設し、情報発信につとめる。 貴重品ロッカーを設置する。
2 確かな学力の養成と進学実績の向上	基礎・基本の徹底および主体的に学習に取り組む意欲を持つ生徒の育成	(1) 進学プロジェクトの充実 放課後の進プロ、長期休暇中の講習、勉強合宿等を通じて積極的に学習に取り組む姿勢と確かな学力を養成する。	生徒アンケート「授業に集中している」保護者アンケート「わが子は、積極的に学習に取り組んでいる」で肯定的評価80%以上	生徒アンケートでは中学87.2%、高校92.3%が授業に集中していると回答しており、昨年より向上した。家庭学習の充実に向けての対策が必要。	大学入試共通テストにむけた指導を確立させる。
		(2) 大学受験に向けた意識向上のための企画の推進 中学) 夏季プログラム、先輩の話聞く会、コンクール参加 高1) 進路講演会、大学見学会、スタディサプリ 高2) 夢ナビ、大学別説明会、進路講演会、スポーツ専攻進学説明会	保護者アンケート「進路に関する情報を的確に伝え、きめ細やかな指導がされている」「将来を考える、進路意識を高める指導がされている」で肯定的評価80%以上	高校では進路情報に関する項目で81.2%、進路意識の向上に関する項目で80.7%の評価を得ることができたが、中学ではどちらも70%台の評価となった。生徒アンケートでも同様の結果となっており、中学生に向けた進路意識の向上に力を入れていきたい。	中学生の進路意識を向上させる取り組みを充実させる。
		(3) 立命館との提携強化 ・3年間のプログラムの完成 ・「ライスボールセミナー」実施 ・Rコースの学力向上	既存の企画の充実と新企画の実施ができたか	3年間の高大連携企画が定着してきた他、校内で先輩から学ぶ「立命館ミーティング」を充実させることができた。また、立命館コースにとどまらない企画として新しく「ライスボールセミナー」を学期に1回行うことができた。	高大連携企画の充実とともに、学力向上に向けての取り組みを行う。
		(4) 新学習指導要録への対応 ・探究学習の実施(高1・中学) ・プログラミング教育(中学)	それぞれの取り組みをスタートさせることができたか。	高1では、各クラスでテーマを決めて探究学習を行い、学年末に発表することができた。中学では1年「地震」、2年「服のチカラプロジェクト」、3年「廃プラスチック問題」のテーマで探究学習に取り組むとともに、各学年でプログラミング学習をスタートさせた。	今年度スタートさせた企画を振り返り、2年目として充実させる。
3 国際社会に貢献できる生徒の育成	国際社会への意識向上のための取り組みの実施と4技能を備えた高い英語力の育成	(1) 英語圏への修学旅行 国際人としての素養を身につけ自立する力を養成する。 中3) ロサンゼルス 高2) グアム	充実した修学旅行が実施できたか	中高ともに充実した修学旅行を実施することができ、生徒の満足度も高いものとなった。次年度以降の中学修学旅行について検討を行った結果、ロサンゼルスを継続することとなった。	高校修学旅行の行き先・内容を検討する。
		(2) 語学研修・短期留学 語学力と異文化理解力を高める為に、語学研修・短期留学への参加を積極的に勧める。 ・2週間語学研修 ・3ヶ月海外研修 ・8ヶ月留学	各種プログラムのへの参加者数の増加	2週間の語学研修は参加者が11名と大幅に増加。3ヶ月研修は昨年同様2名だが、内1名は初めてスポーツ専攻からの参加となった。8ヶ月留学は今年度は参加者がいなかった。次年度はコロナの影響が心配される。	現地との連絡を密にとり、より安全・安心な研修を目指す。
		(3) 4技能を備えた英語力の育成 GTEC(4技能)の受験に向けて、スピーキングに力を入れた授業を行うとともに、オンライン英会話の導入の検討を行う。	GTECスコア	GTECスコアはスピーキングも含めて順調に伸びている。立命館コースの入学前教育に試験的にオンライン英会話を導入し、一定の成果が得られた。	オンライン英会話を本格的に導入する。
4 地域連携・交流と生徒募集の推進	地域に根ざした魅力ある学校づくり、および生徒募集の推進	(1) 地域行事への参加、協力 ・高野山参詣登山、橋本マラソンへの参加。 ・インターアクト部による地域夏祭り等への参加協力、放送部による「FM橋本」の番組担当、柔道部による少年柔道教室への協力等。	地域行事に積極的に参加できたか	クラブ員を中心に、地域行事への積極的参加を進め、高野山参詣登山参加者14名、橋本マラソン参加者109名であった。次年度は参加者増を目指したい。	生徒への周知・広報に力を入れ、参加者数増に繋げる。
		(2) 地域への奉仕 ・運動部による日々の地域清掃。 ・警察と連携した「きのくにマナーアップキャンペーン」への協力。 ・選挙管理委員会と連携した選挙啓発街頭活動への参加。	「挨拶や時間厳守など、社会に通用する指導がされている。」で肯定的評価80%以上	社会に通用する指導の項目での評価は中学94.4%、高校93.5%と非常に高い。このことが地域からの評価に繋がるように、生徒の活動を積極的に外部に発信していく。	公的機関と連携を強め、様々なボランティア活動への参加を積極的に進める。
		(3) 定員充足に向けた募集活動 ・プレテスト、学校見学会、入試説明等の行事の充実 ・塾訪問、中学校訪問の強化	募集定員(中学校60名、高校220名)の充足	定員を充足させることができなかった。	募集行事の時期・内容・広報を見直す。